

# ろうわ SDGs

2024年12月5日(木)

高等部(理科担当 宇野)

## 「ろうわバナナを全校のみんなで食べました」

今年の7月中旬から下旬にかけて実を付け始めたろうわバナナ。全部で3株あるうちの1株分の実を、11月6日に収穫しました。切り口から大量の水分が溢れ出てきました。実の数を数えると、76本!(小さいサイズも含む)重さは6kgを超えていました。まだ緑で硬く、そのまま食べると「渋い」「キュウリみたい」「美味しくない」そこで、リンゴと一緒に袋に入れて追熟させることにしました。無事に黄色になったものは、ねっとり甘くて「美味しい!」自然と笑顔がこぼれていきました。生徒たちの待望の、“給食で全校のみんなで食べる”という目標が一気に加速されました。



そして12月4日、高等部の生徒全員で「ろうわバナナケーキ」を作る日がやってきました。幼稚部から高等部の子どもたちや大人まで、合計100個以上のバナナケーキを生徒たちで協力して作りました。

本校の給食は、みんなで同じ部屋に集まって食べています。“愛情を込めて作ったものを、最後までみんなに言葉にして伝えたい!” 紹介内容も自分たちで相談して考えて、給食の時間に高等部のみんなから幼稚部・小学部・中学部の子どもたちへ、バナナの取り組みの紹介やバナナケーキへの思いが伝えられました。「美味しかった」「甘かった」「また食べたいなあ」たくさんのあたたかい感想の言葉がかけられました。



残ったバナナの皮をそのまま捨てるのはもったいない! 皮も残さず活用します。バナナの皮を細かくハサミで切ってペットボトルに入れ、75%ほどの量の水を入れたら容器をへこませながらキャップを閉めて置いておきます。すると、少しずつ水が茶色→黒色に濁ってきて、約3週間で液体肥料の出来上がりです(夏場よりも冬場の方が完成までの時間がかかります)。

ろうわバナナで、新ろうわバナナ(来年も実を付けてほしいという思いを込めて)を育てるための準備が早速始まりました。

